

F☆☆☆☆

ホルムアルデヒド放散等級分類記号

JIS K 5670

アクリル樹脂系非水分散形塗料

ヒスイシリーズ

建築用塗料 弱溶剤(ターペン)可溶



 株式会社トウペ

旧塗膜を傷めない、アクリル樹脂系非水分散形塗料です。

建物の塗り替え時に抜群の効果を発揮する「ヒスイ」シリーズ。

建物の塗り替え需要が年々高まり、新しい塗料分野を形成しつつあります。

塗り替え時は新設の場合と異なり、旧塗膜の種類、状態が様々です。

また、塗装環境条件の制約など、解決しなければならない問題もいくつか挙げられます。

これらの問題を考慮し、開発されたのが「ヒスイ」シリーズです。

建物のリフレッシュシステムの一環として、コンクリート、モルタル面などに塗装された各種塗料・塗材の塗り替えに最適です。また、新設工事での使用も可能です。

特長

1.旧塗膜を傷めません。

希釈剤はペイントシンナー（塗料用シンナー）で、強い溶剤を使用するアクリル及び塩化ビニル系塗料などのように、残存旧塗膜を傷めません。

2.溶剤臭気が気になりません。

ヒスイシリーズはいずれも溶剤臭の少ない塗料です。

3.シーラーなしで塗装できます。

優れた浸透性・付着性があり、各種旧塗膜に直接塗ることができます。

4.低温乾燥性が優れています。

低温時における造膜性が、水系塗料よりスムーズです。

5.防かび性が優れています。

優れた防かび効果により、壁面を長期間、かび汚染から守ります。

6.タバコのヤニなどのような、水溶性のしみを抑えます。

7.塗り重ね性が優れています。

非水分散形のため、通常の溶剤型塗料のように塗り重ねのとき、一回目の塗膜を引っぱったり、ちぢみを生ずることがありません。

8.耐候性・耐久性が優れています。

高級アクリル樹脂系で諸性能が優れています。またヒスイつや有りは肉持感のある光沢を長期間保持します。

9.用途範囲の広い塗料です。

ヒスイつや有り・半つやはコンクリート、モルタル部の他、鉄部にも塗装でき、塗装作業の簡略化・効率化に貢献します。

10.ホルムアルデヒド放散等級はF☆☆☆☆です。

11.JIS K 5670 合格品です。

用途

・ヒスイはつや消し塗料です。建築物のコンクリート・モルタル面、内外壁・天井及び木部など広い用途を持っています。

・ヒスイつや有・ヒスイ半つやは、鉄部・木部にも使用できます。また、腰壁にも最適です。

●公共建築工事標準仕様書（平成22年度版）18章 塗装工事における6節

アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り（NAD）に適合する商品です。

●公共建築改修工事標準仕様書（平成22年度版）7章 塗装改修工事における7節

アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り（NAD）に適合する商品です。

塗装物に合わせて3タイプをご用意

・ヒスイつや有

・ヒスイ半つや

・ヒスイ

種類・色相・容量・JIS

種類・色	容量	種類・色	容量	JIS
ヒスイ つや有 白 ヒスイ 半つや 白	16kg 16kg	ヒスイ つや有原色 黒・赤さび・紺・黄・赤・黄土色	各4kg	JIS K 5670
ヒスイ 白	16kg	ヒスイ 原色（つや消し） 黒・赤さび・紺・黄・赤・黄土色	各16kg 各4kg	

●ヒスイつや有原色:ヒスイつや有・ヒスイ半つやの調色用。 ●ヒスイ原色:ヒスイの調色用。 ●鮮明な色の調色は、近似色になることがあります。

関連商品

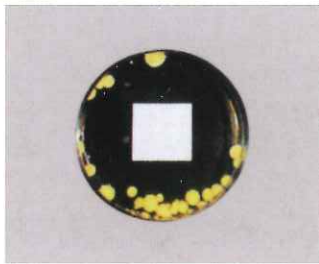
ヒスイの関連商品として「スイセイヒスイ」があります。ヒスイはペイントシンナー溶解の弱溶剤塗料ですが、それを水性化したのが「スイセイヒスイ」です。水系の使用が望ましい場合にご使用ください。

スイセイヒスイ 白及び原色 16kg 4kg

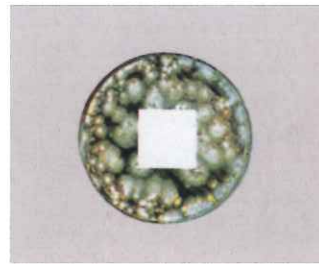
防かび性に優れた効果を発揮します。

ヒスイの優れた防かび性について

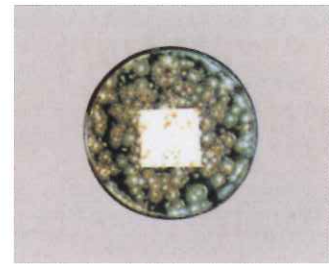
塗料を塗布した試験片(3×3cm)を寒天培地上にはり付けしたのち、混合かび孢子懸濁液を噴霧する JIS Z 2911のかび低抗性試験を行い、7日目迄のかび繁殖を観察した結果、ヒスイの優れた防かび性が証明されました。



ヒスイ



アクリル系エマルジョン塗料



市販品A

性状・性能表(他種塗料との比較)

	ヒスイ	ヒスイ つや有り・半つや	スイセイヒスイ	塩化ビニル 樹脂塗料	エマルジョン 塗料	アクリルリシン
はけ、ローラー作業性	◎	○	◎	△	◎	—
溶剤臭気	○	○	◎	×	◎	◎
引火性	△	△	◎	×	◎	◎
低温安定性	◎	◎	○	◎	△	△
塗装間隔	2時間以上	4時間以上	2時間以上	2時間以上	3時間以上	3時間以上
乾燥時間	4時間	6時間	1時間	1時間	1時間	2時間
塗り重ね時はけ重さ	○	○	○	×	◎	—
つや	つや消し	つや有り及び 5分つや有り	つや消し	つや消し及び つや有り	つや消し及び つや有り	つや消し
表面状態(つやむら)	◎	◎	◎	△	◎	◎
初期耐水性	◎	◎	○	◎	△	△
耐水、耐アルカリ性	○	◎	○	◎	△	△
やに・しみ抑え	◎	◎	○	◎	×	×
防かび性	◎	◎	◎	△	△～×	△～×
耐候性	◎	◎	○	×～△	△	△
旧塗膜に対する選択制	◎	◎	◎	△	○	○
旧塗膜に対する密着性	◎	◎	◎	◎	△	△
低温乾燥性	○	○	○	◎	△	△

コンクリート・モルタルなど幅広い用途に。

■塗り替え工事標準仕様例

1.コンクリート・モルタル部、その他ボード面など 素地調整

工程		項目
1	躯体壁面の下地処理	1.クラックの処理(漏水チェック) 2.モルタル浮きの処理 3.欠損部、パク裂による鉄筋露出部の処理 4.シーリング材の改修
2	表層の汚染粉状物の除去	1.かびの場合、塩素系かびとり剤あるいは第三燐酸ソーダ5%温水液で処理し水洗、乾燥 (「塩素系」と「酸性タイプ」の混合は有毒ガスを発生しますので併用して使用しないでください) 2.活膜の場合、ごみ、汚れを除去
	旧塗膜の処理 脆弱層の除去	1.ディスクサンダー、ワイヤーブラシで脆弱層部の除去
	浮き塗膜の除去	1.付着性不良部は皮スキ、ワイヤーブラシ、サンダーなどで完全除去 2.パテなどの使用部も完全除去
3	段差などの表面調整	段差が大きい場合、トアセメントフィラーで調整

注)次頁の「注意事項」の項も併せてご参照ください。

(1)ヒスイ(つや消し)標準塗装仕様例

工程	商品名	塗回数 (回)	塗付量 (kg/m ² /回)	希釈剤	希釈率 (%)	塗装間隔 (時間/23℃)	塗装方法
素地調整	旧塗膜劣化が著しく、浮き、はがれが発生している場合は皮スキ、ワイヤーブラシ、サンダーなどでケレン後、ほこり、汚れを除去する(必要に応じて水洗、乾燥)						
下塗	ヒスイ(つや消し)	1	0.11~0.14	ペイントシンナー	はけ、ローラー 5~15	2以上	はけ、ローラー
上塗	ヒスイ(つや消し)	1	0.11~0.14	ペイントシンナー	はけ、ローラー 5~15	——	はけ、ローラー

注1)塗付量は平滑面に塗装した場合の標準値であり、素地面の凹凸の状態、吸込みの程度などにより異なります。

注2)下地が粉っぽい場合は、ペイントシンナー50~100%で希釈して下塗りしますと、下地調整に大きな効果が得られます。

(2)ヒスイつや有・半つや標準塗装仕様例

工程	商品名	塗回数 (回)	塗付量 (kg/m ² /回)	希釈剤	希釈率 (%)	塗装間隔 (時間/23℃)	塗装方法
素地調整	旧塗膜劣化が著しく、浮き、はがれが発生している場合は皮スキ、ワイヤーブラシ、サンダーなどでケレン後、ほこり、汚れを除去する(必要に応じて水洗、乾燥)						
下塗	ヒスイつや有・半つや	1	0.11~0.14	ペイントシンナー	はけ、ローラー 5~15	4以上	はけ、ローラー
上塗	ヒスイつや有・半つや	1	0.11~0.14	ペイントシンナー	はけ、ローラー 5~15	——	はけ、ローラー

注1)塗付量は平滑面に塗装した場合の標準値であり、素地面の凹凸の状態、吸込みの程度などにより異なります。

注2)下地が粉っぽい場合は、ペイントシンナー50~100%で希釈して下塗りしますと、下地調整に大きな効果が得られます。

2.鉄部

ヒスイつや有・半つや標準塗装仕様例

工程	商品名	塗回数 (回)	塗付量 (kg/m ² /回)	希釈剤	希釈率 (%)	塗装間隔 (時間/23℃)	塗装方法
素地調整	浮き塗膜、さび、浮きミルスケールをワイヤーブラシ、ディスクサンダーなどでケレン後、ほこり、汚れを除去する						
下塗	クリーントアポーセイ	1~2	0.13~0.15	ペイントシンナー	はけ 0~5	16以上	はけ
上塗	ヒスイつや有・半つや	2	0.11~0.14	ペイントシンナー	はけ、ローラー 5~15	4以上	はけ、ローラー

注)さび止め塗料は使用条件、環境条件に応じて、トアポーセイ#100、タイトプライマーなど各種のタイプが使用できます。これ以外のさび止め塗料を使用する場合は、お問い合わせください。

新築用塗料として。

■新設工事標準仕様例

1.コンクリート・モルタル部、その他ボード面など ヒスイ(つや消し)・つや有・半つや標準塗装仕様例

工程	商品名	塗回数 (回)	塗付量 (kg/m ² /回)	希釈剤	希釈率 (%)	塗装間隔 (時間/23℃)	塗装方法
素地調整	養生期間を十分とり含水率10%、pH10以下にする 素地の付着物(エフロレッセンスによる白い粉、未硬化セメント粉末、土砂、ほこりなど)を完全に除去し、巣穴・段違いなどはトアセメントフィラーで平坦にする						
下塗	ヒスイ	1	0.11~0.14	ペイントシンナー	はけ、ローラー 5~15	2以上	はけ、ローラー
上塗	ヒスイ	1	0.11~0.14	ペイントシンナー	はけ、ローラー 5~15	つや有り 半つや 4以上 つや消し 2以上	はけ、ローラー

注1) 塗付量は平滑面に塗装した場合の標準値であり、素地面の凹凸の状態、吸込みの程度などにより異なります。
注2) 塗装されている新設サイディング材の場合はシーラーに選択性がありますので、当社へお問い合わせください。
注3) 素地の吸い込みが大きい場合は、ペイントシンナー50~100%で希釈して下塗りしますと、下地調整に効果が得られます。

2.鉄部

ヒスイつや有・半つや標準塗装仕様例

工程	商品名	塗回数 (回)	塗付量 (kg/m ² /回)	希釈剤	希釈率 (%)	塗装間隔 (時間/23℃)	塗装方法
素地調整	さび、浮きミルスケールをワイヤーブラシ、ディスクサンダーなどケレン後、ほこり、汚れを除去する						
下塗	クリーン トアボーセイ	1~2	0.13~0.15	ペイントシンナー	はけ 0~5	16以上	はけ
上塗	ヒスイ つや有・半つや	2	0.11~0.14	ペイントシンナー	はけ、ローラー 5~15	4以上	はけ、ローラー

注) 塗り替え工事標準仕様例参照



各種塗装方法に対応し、作業性に優れています。

注意事項

(施工)

1. 塗装は、はけ、ローラー塗りが適しています。
2. 高湿度(湿度85%以上)、降雨、降雪の場合は塗装をさけてください。
3. 気温5℃以下での塗装はさけてください。
4. 溶剤型塗料ですので、換気、火気に十分注意してください。
5. 1回塗りでは浸透性が大きいので、吸込みむらを生じることがあります。必ず、所定の塗装間隔をとり、2回以上塗装してください。
6. 塗装器具の洗浄は、未乾燥のうちにペイントシンナーで洗ってください。
7. 調色には、専用原色をご使用ください。特殊分散形塗料ですので、他品種塗料との混合はできません。
8. ヒスイつや有、半つやにヒスイの塗り重ねはさけてください。ひび割れを生じることがあります。
ヒスイにヒスイつや有、半つやの塗り重ねは問題ありません。
9. 活膜・死膜の判定方法(付着テスト)
NTカッターで塗膜にクロスカッターを入れ、布製粘着テープを圧着、斜め45°の角度で瞬間的に引きはがす。(判定方法右表)
死膜・死膜と思われる部分及びその周囲をワイヤーブラシでよくケレンし、死膜を残さないようにする。チョーキング膜については、チョーキング部分を水拭き乾燥後確認する。

状態				
	全面剥離	クロスカッターに沿った剥離片側2mm以上	クロスカッターに沿った剥離片側1mm以下	剥離なし
区別	死膜	死膜	活膜	活膜

安全衛生上の注意事項

塗料、材料に関する安全衛生面での注意事項は、塗料、材料の容器に記載してありますので、ご確認の上ご使用ください。

■安全衛生上の注意事項、その他の注意事項につきましては製品安全データシート(MSDS)をご参照ください。



ホームページアドレス <http://www.tohpe.co.jp/>

	☎	FAX
本社	〒592-8331 大阪府堺市西区築港新町1-5-11	072(243)6452 072(243)6407
塗料相談室		
東京支店	〒110-0015 東京都台東区東上野6-16-10 KBUビル	03(3847)6441 03(3847)6445
大阪事務所	〒530-0004 大阪市北区堂島浜二丁目番29号(古河大阪ビル9F)	06(4795)1915 06(4795)1916
北海道営業所	〒061-1111 北海道北広島市北の里27-16	011(372)4511 011(372)4429
仙台営業所	〒983-0004 仙台市宮城野区岡田西町1-6-6	022(288)9885 022(288)9940
北関東営業所	〒306-0213 茨城県古河市北利根8-5 茨城工場内	0280(92)5951 0280(92)0492
東京営業所	〒110-0015 東京都台東区東上野6-16-10 KBUビル	03(3847)6420 03(3847)6475 03(3847)6502 03(3847)6467
北陸営業所	〒933-0251 富山県射水市有磯2-3-2	0766(86)3581 0766(86)3513
静岡営業所	〒422-8067 静岡市駿河区南町6-1南町第1ビル	054(285)4351 054(285)3875
名古屋営業所	〒460-0003 名古屋市中区錦1-6-10 スズワンビル2階	052(232)8230 052(232)8232
大阪営業所	〒592-8331 大阪府堺市西区築港新町1-5-11	072(243)6421 072(243)6425 072(243)6431 072(243)6428
中四国営業所	〒713-8103 岡山県倉敷市玉島乙島8252-39	086(526)1708 086(526)1728
九州営業所	〒811-0117 福岡県粕屋郡新宮町大字上府字松尾1504-1	092(962)1521 092(962)4131
三重出張所	〒519-1402 三重県伊賀市柘植町2700	0595(45)5139 0595(45)2081
研究所	三重・茨城	

株式会社トウペ製造		☎	FAX
三重工場	〒519-1402 三重県伊賀市柘植町2700	0595(45)4131	0595(45)2081
茨城工場	〒306-0213 茨城県古河市北利根8-5	0280(92)1571	0280(92)5811
倉敷工場	〒713-8103 岡山県倉敷市玉島乙島8252-39	086(525)1821	086(525)1239
九州工場	〒811-0117 福岡県粕屋郡新宮町大字上府字北尾1561-16	050(3000)8084	092(962)1627

■取扱店

●このカタログの内容について詳しくお知りになりたい方は、お近くのトウペ取扱店におたずねになるか、当社にお問い合わせください。
●仕様その他は改良のため予告なく変更する場合がありますので、予めご了承ください。